

有田市長 望月 良男殿

令和元年度 11 月 13 日
中央地区 山地自治会
会長 江川 敏夫

端祥洞（排水隧道）の調査に関する要望書

平素は自治会活動にご協力いただきありがとうございます。さて、標記の件につきまして、早急に調査していただきたく下記の通りお願い申し上げます。

1、要望の事情

高山川ポンプ場の除塵機設置により、排水ポンプの能力が最大に発揮できるようになりましたが、本年8月の台風10号の大雨で水位が2.24mとなりました。前回浸水時の高山川の水位は2.40mで住宅地への浸水が発生しています。地区内の雨水の一部は排水隧道を通過して湯浅湾へも排水されていると思われませんが、地区内の端祥洞内部や排水量について現状把握ができていません。

2、要望の理由

端祥洞（排水隧道）は明治末期に作られたと聞き伝えられています。今日まで内部調査や満潮・干潮時の排水能力の調査がおこなわれた記録がありません。湯浅湾側への排水口での導流堤が今年の台風で壊れ来年度の予算で修復工事が予定されています。本年8月の台風10号で宮原地区（宮原公民館）の降水量は194mmでした。山地周辺地域（有田市役所 89mm）約2倍の降水量である。今後、同じような雨量が山地地区であると高山川のポンプだけの排水では無理があります。そこで、地区内の雨水がより早く排水するために端祥洞の活用を地区としても考えました。端祥洞の現状を把握し、その結果を基に今後の対策と活用を検討するために調査を依頼するものであります。

3、要望の詳細

端祥洞に関する調査

- ① 洞内の耐久性について
- ② 洞内の堆積物について
- ③ 潮の干満時の高低差
- ④ 新川から端祥洞の入口の水門の活用について

以上